

平成19年度 入札監視委員会審議概要

北海道防衛局

開催日及び場所	平成20年 3月11日(火) 北海道防衛局4階会議室		
委員	阿座上委員長(地域経済研究所理事長) 田口委員(財団理事長) 神谷委員(大学講師) 齋藤委員(弁護士) 杉下委員(公認会計士・税理士)		
審議対象期間	平成19年10月 1日 ~ 平成19年12月31日		
審議対象件数	42件		
1 入札状況について(競争参加資格の設定、指名の経緯、落札者決定の経緯等について)			
抽出件数	総件数	10件	(審議概要) ・局担当者から契約状況、指名停止状況の説明 ・対象件数より抽出した10件の概要について局担当者が説明、委員による審議
建設工事	一般競争	-件	
	一般競争(政府調達協定対象外)	4件	
	企画競争	0件	
	公募型指名競争	3件	
	指名競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等		3件	
意見・質問	回答	備考	
【指名停止状況説明】 ・特になし 【抽出案件】 建設工事(北海道局) 一般競争入札方式(政府調達協定対象外) [当別外(19)空調設備更新機械その他工事] ・一般競争入札方式において、入札参加者が1社だけでも入札は成立するのか。	・一般競争入札は、広く公告して入札希望者を募集するものである。募集段階で公告内容の要件について競争が行われているとし、たとえ1社だけの入札でも入札に必要な競争性は失われるものではないとして、入札は有効としている。		

意見・質問	回答	備考
<p>・インターネット等による入札公告が業界に浸透されていないのではないかと。</p> <p>・他官庁でも入札参加者が少ない状況だと聞いている。</p> <p>・参加するに当たり、競争参加資格の要件を全て満たすこととなっているが、条件を満たす会社はどれだけいるのか。</p> <p>[留萌(19) 宿舎排水整備工事]</p> <p>・不調が続いたのは、工事内容等からみて人気のない工事だからなのか。又、積算等の歩掛の採用について、業者側と大きな違いは無かったか。</p> <p>・第1回入札で落札しなかった場合、最低入札額は入札参加業者に伝えているのか。 第2回入札で第1回の最低入札額よりも高い入札参加者がいるがどうしてか。</p> <p>[旭川(19)北整備場新設機械追加工事]</p> <p>・入札3回目も最低入札額が予定価格を超えた場合、どうするのか。</p> <p>・他社が辞退し最終入札では1社のみ入札となっているが、随意契約に近い形となるのではないかと。</p>	<p>・昨年6月末まで小規模工事については、指名競争入札で実施していたが、一般競争入札の参加においては、会社側が有利な条件に合ったものを選別して応募してくること等から入札参加者が少なくなったものと考えられる。</p> <p>・参加要件として、最低限の施工実績等を設定していることから、登録業者の大部分が条件を満たすと考えられる。</p> <p>・平成18年度は指名競争入札により実施し、結果的に不調となったが、平成19年度においては一般競争入札として広く広告し、入札参加業者を募集して入札を実施したところなんとか不調が回避できた。歩掛については当局と同じ内容の歩掛を採用している。</p> <p>・入札実施の都度、最低入札額については参加者に通知している。 しかし、電子入札においては自社の入札額の結果しか見ておらず、最低入札額を確認していなかったと聞いている。</p> <p>・入札は原則2回までとしているが、入札価格が予定価格と僅差である場合、再公告等を行い入札を再度実施したとしても必ずしも落札に至るとは限らないことから、4度目の入札を実施する。</p> <p>・広く公告し、入札参加者を募集していることから、最終的に1社だけの入札となっており競争性は確保されている。</p>	

意見・質問	回答	備考
<p>公募型指名競争入札方式 [千歳外(19)隊庁舎改修等建築その他 工事] [苗穂(19)警衛所・消防車庫新設建 築その他工事] ・入札公告に記載の競争参加資格は全 て満たさないといけないのか。施工成 績の要件を見ると、北海道防衛局の工 事の受注実績がないと応募出来ない様 に読み取れるが、どう思うか。</p> <p>建設コンサルタント業務等 公募・簡略審査型指名競争入札方式 [札幌外(19)通信置局調査] 特になし</p> <p>指名競争入札方式 [函館(19)既設建物耐震診断] ・予定価格が高すぎるのではないか。 1社だけが極端に入札価格が低いが。</p> <p>・工期はいつまでか。</p> <p>・成果品は問題ないのか。</p> <p>・人工等は、標準歩掛等で公表してい るのか。</p> <p>・業者によっては入札額と予定価格が 10倍も差があるのはなぜか。</p> <p>・その診断方法は公になっている方法 なのか。</p>	<p>また、電子入札により行うこと から、参加業者が自社の他に何 社いるか知ることが出来ないシ ステムとなっている。</p> <p>・安全保障に係る調達であり、 施工成績の要件は、不良業者を 排除するために設定している。 防衛省の受注実績がない場合は 国の工事の受注実績があれば良 いこととしている。</p> <p>・予定価格と落札額との差は、 局の積算による諸経費と同程度 であることから、落札会社は諸 経費を削減して入札したもの と考えられる。</p> <p>・平成19年10月17日から平成20 年3月20日までである。</p> <p>・今のところ問題はありません</p> <p>・標準歩掛等がないため、業者 見積により積算を行っているこ とから公表していない。</p> <p>・耐震診断の方法を具体的に仕 様書に示しているが、仕様書の 内容について業者側の捉え方が 異なっている可能性が考えられ る。</p> <p>・耐震診断は、国土交通省監修 の「耐震診断基準」による一次 診断法により実施しており公表 されている。</p>	

意見・質問	回答	備考
<p>建設工事（帯広支局） 一般競争入札方式（政府調達協定対象外） [帯広(19)宿舎改修機械その他工事] 特になし</p> <p>公募型指名競争入札方式 [網走(19)局舎改修通信その他工事] ・公募型指名競争入札にする理由 はなぜか。</p> <p>・公募型指名競争入札にするのと、 指名競争入札にするのとではどこが違 うのか。</p> <p>指名競争入札方式 [帯広外(19)電波障害調査] ・駐屯地の宿舎に対する調査だと思 うが、どのような内容になっている のか。</p> <p>・辞退者が多くなっているが、どのラ ンクの業者となっているのか。</p> <p>・Bランク業者では、当該業務の実施 は無理だったのではないか。</p>	<p>・安全保障に係る調達に該当す る工事のためである。</p> <p>・公募型指名競争では、応募の あった会社のうち、参加資格要 件を満たした会社を指名するこ とになる。指名競争の場合は、 発注者側が一方的に原則として 10社以上の会社を指名している</p> <p>・テレビがアナログ放送から地 上デジタル放送に変更されるに あたっての既存宿舎による障害 の有無等の調査業務である。</p> <p>・指名業者10社中、辞退が7社 であり、その内のBランク業者 は5社全てが辞退している。他 はAランク業者である。</p> <p>・本業務の実績を有する業者は Aランク5社に限られている が、会計法から参加する者をな るべく10社以上指名することと していることから、Bランク業 者も業務実施は可能と考え5社 指名したが、たしかにBランク 業者全て辞退された結果となっ たことから、選んだ業者は無理 であったと考えられる。</p>	
<p>委員会による意見の 具申又は勧告の内容</p>	<p>〔意見の具申等〕 ・特になし</p>	<p>〔回答〕</p>

2 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について			
	談合疑義件数	- 件	(審議概要) ・該当案件なし
工 事	談合情報	- 件	
	点検結果疑義	- 件	
業 務	談合情報	- 件	
	点検結果疑義	- 件	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	〔意見の具申等〕		〔回答〕

3 入札結果の事後的・統計的分析結果について(公正入札調査会議への報告内容の確認等)		
審議概要	・一位不動、順位不動、落札率、応札率について説明	
意見・質問	回答	備考
・工事の方で、最大落札率が100%とあるがなぜか。	予定価格と落札額が同額ということではなく、僅差だったことから統計処理上、端数が切り上がって100%と表示されている。	